


根堀台

第7号



由利中学校 学校便り
 令和四年七月四日(月)
 発行者 校長 今村 聡

地域でのあいさつ しっかりやってくれているようです



六月から七月 初めにかけて、地域の方から中学生のあいさつについて、お褒めの言葉をいただく機会が三度もありました。これまで、各種大会の壮行会や報告会で、再三励行を呼びかけておりましたので、たいへん嬉しいお言葉でした。子ども達に心から感謝です。さて、世界には、日本語や英語、フランス語、

ドイツ語など公用語だけでも百近い言語があるそうです。(公用語ではない一部の民族が使う言葉も合わせると千を超えるとも言われます。)当たり前のことですが、それぞれ文字も違う、発音も違う、文法も違うのですが、どの言語にも必ずあいさつの言葉はあるのだそうです。つまり、世界で使われている言語の数だけあいさつの言葉がある、ということになるわけです。それぞれのあいさつがどのような誕生したのかは定かではありませんが、人種を問わず人間として必要であるからこそ、どの言語にもあいさつがあるのだと思います。



中学生も、あいさつの大切さは幼い頃から言われ続けてきたことであろうし、十分に理解しているはずですが、ただ、照れくさかったり、気恥ずかしかったりして、声が小さくなりがちなの時期でもありません。とは言え、社会に出れば、あいさつがしっかりとできないと同僚や上司とコミュニケーションがとりづらくなり、信頼も得られません。三年生だと早い人でもあと三年余り、一年生でもあと五年余りで社会に出ることになります。どんなにシャイな人でも、「最低限相手に聞こえる声で、表情よく」あいさつできれば、少なくとも相手に不快感は与えません。だいたい「おはようございます！」をいかに交わすか、というお話を、おたのしみください。

一年生は初の挑戦 前期中間テスト

七月一日、前期中間テストが実施されました。さて、手応え、結果はいかがだったでしょうか？一年生の皆さんの中には、小学校のテストとの違い(まず問題数が多い)に戸惑った人もいたのではないのでしょうか？先輩方はいかがでしたか？対策がばっちりだった！となっていたらいいですね。

いずれにしろ、自分の現状をしっかり把握し、自分の答案を分析し、次回に向けて何にどう取り組んでいくか戦略を練りましょう。

由利中生 力もつてます！

四月に実施した市総合学力調査で、全学年、全教科で市の平均を上回りました。これは、すごいことです。この力を、更に伸ばしていきたいものです。



突然ですが、右の絵の左端の枠に何が隠れていると思いますか？
 小さくて、猫より左に何が描かれているか見えないと思いますが、それは関係ありません。(ちなみに、猫の次はネズミでその次は私にも分かりません。)

夏休みを前に、ちよつと考えてみたいことが描かれています。裏面で答えを確認してください。ちよつと怖い絵なんです。

裏面へ